

(様式例)

令和3年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・小学校からの連携で、「書くこと」の項目に力を入れていたが、アルファベットを書くことができない生徒も多く、もっと小学校との連携を図っていくべきだと感じた。
- ・自己紹介やスピーチ発表、ペアワークなどを多く取り入れることによって、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上を図ることができた。

(2) 課題

- ・基礎力が定着していない生徒に対してのフォローが必要であると感じる。そこで、2クラスを3展開する少人数指導を取り入れ、より小さい単位で生徒一人一人を注意深く見ていく。また、スピーチテストやインタビューテストなどを通して、英語で表現する力を身に付けられるよう指導していく。
- ・生徒一人一人がタブレットを使用し、学習を進めていけるよう、日頃から授業にタブレット学習を取り入れていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも下回っている。		
第2学年	区の標準スコアよりも上回っている。	(第1学年時)	
第3学年	区の標準スコアよりも下回っている。	区の標準スコアよりも下回った。 (第2学年時)	実施なし (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より校内平均正答率が下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区の目標値より校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より校内平均正答率が下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本単語、熟語の理解・定着のための小テストやスピーキングコンテストを行う。	自然な速さや発音で話される英語を聞き取ったり、英語母語話者と実際に会話をしたりする機会を積極的に取り入れ、ALT との TT の工夫をする。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。